お役立ち情報

第4回 リフト車の注意点

1 砂・泥に大変弱い

ハイエース・キャラバンなどのリフト車は、施設などの送迎を目的に使用されるケースが多いと思います。施設の乗降場所は舗装されていることがほとんどでしょうが、利用者のご自宅前の乗降場所は舗装されているとは限らず、砂利道などでの使用をされる場合も多いと思います。

リフトのプラットホーム上および側面に泥などが付着したまま使用すると、リフトが前後にスライドする際その砂などが内部に入り込み、ガイドローラーなどを傷つけてしまい、異音の発生および故障の原因となります。

またプラットフォームの裏側についた泥なども注意が必要です。とくに雨が降っているとき、雨上がりのときなど路面が濡れているときは注意が必要です。

最大の予防は清掃することです。汚れがついたまま使用することが、故障の大きな原因になりますから、こまめに清掃しましょう。

2 水気に弱い

リフトのモーターを制御しているコントロールユニット、は水分をとても嫌います。この部分に水がかかるなどすると、トラブルの原因となります。

前モデルのハイエース（100系）は、コントロールユニットが左後方に配置されています。この位置は、ちょうど上部の窓が開閉できる構造となっているため、うっかり閉め忘れた場合などは雨が吹き込んでしまい、コントロールユニットを破損してしまうケースもよく見受けられます。

また電源のマイナスアース部もフロアに固定してあるため、水が入ることでボルト部分がサビてしまい接触不良をおこすことがあります。